

|し|ま|ね|海|洋|館|機|関|誌|

神話の海から

Vol. 36
2022

特集
アクアス
続々

アップデート中!



アクアス続々

アップ デート中!

新クラゲ水槽OPEN★

4月1日、クラゲ展示エリアに新しく3つの円形水槽がオープン!
ゆったりと漂うクラゲたちをプロジェクションマッピングと合わせて楽しむことができる魅力的な空間に生まれ変わりました。

クラゲエリア

Before

After

おすすめポイント1

水槽数7つ!
プロジェクションマッピング導入!
新たな空間が生まれたことで、
幻想的な雰囲気に!!

クラゲと一緒に記念写真

水槽両面から家族や友人とクラゲを見て楽しんだり、クラゲと一緒に写真を撮ることも!
ぜひ、アクアスのクラゲたちと一緒に、あなただけの一枚を!

新クラゲ
水槽

おすすめポイント2

大人も子どももクラゲを楽しめるように、3つの水槽はそれぞれ高さが違います。
なかでも一番小さな水槽は、小さなお子様でも見やすい高さになっています!

クラゲ

プロジェクションマッピング

宝石のように煌めくクラゲたちが生まれて成長していく様子(生活史)を色鮮やかに表現しています。
クラゲたちの美しく不思議な命の営みを感じてみてくださいね。
プロジェクションマッピングの好きな場面と合わせて写真を撮るのもおすすめ!



「カミクラゲ」
春にしか見られない
イベント時には
ライトアップも!

クラゲで季節を楽しむ

クラゲは種類によって、現れる季節は様々です。新クラゲ水槽では、季節ごとにアクアス周辺の海で見られるクラゲを中心に展示していく予定です。ぜひ、クラゲで季節を感じてくださいね。



期間限定展示
「オビクラゲ」など

魅力UPしたクラゲ展示エリアで
癒しのひとときを~★

NEW★

シロイルカ パフォーマンス!

令和4年3月16日からシロイルカパフォーマンスもアップデート! プロジェクションマッピングの導入により、シロイルカの生息域である北極の海と島根を繋ぎます。最初は島根にいたはずのあなたも、パフォーマンスが始まってふと気づくと流水浮かぶ海の中に。そこを舞台にシロイルカが作り出すリングを、プロジェクションマッピングがさらに引き立てます。随所に散りばめられた島根の神話をイメージした演出も注目ポイント。シロイルカとプロジェクションマッピングが織り成す泡と光のコラボレーション、より一層幻想的なパフォーマンスへとリニューアル!

こんな
ところも

リニューアル!

プロジェクションマッピング

プロジェクトマッピング
「光降るアクアス」に加えて、
アクアスのリニューアル
スポットをご紹介!

日本海コーナー

石見万葉の磯から順路通りにいくと、床面の映像がみなさまをお迎えします。『光降るアクアス』全体のコンセプト「神話」を象徴する映像です。黄金の雲間から光が漏れだすように輝き、「光降るアクアス」へみなさまを誘います。

神話の海

アクアスで一番大きな水槽「神話の海」。ここにもプロジェクションマッピングが登場しました。ある時間は水槽内の生き物たちのゆったりと泳ぐ影が揺らめき、続いて生き物たちの遊泳とともに神秘的な雲が流れています。実はこの映像、とある神話がモチーフになっているのですが…。ヒントは映像中の雲を踏むと飛び出てくるウサギたち。ほら、サメの背中を渡って…もうおわかりでしょうか? 正解は「因幡の白兎」。山陰地方の神話です。雄大な水槽に映像演出も加えパワーアップした神話の海でゆったりとお楽しみください。

3階の色鮮やかな水槽、「コーラルリーフ」にもプロジェクションマッピング

が登場です。水面が揺らめき、まるで自分たちが水中に入ったかのような楽しい気分になりますが、それだけではありません。こちらの映像も変化するんです! 端の方から、何か泡のようなものが浮かび上がってくると…色鮮やかなサンゴ礁が目の前に広がります。ちなみに、この泡のようなものはサンゴの卵とイメージしています。サンゴの合間に「ヤマタノオロチ」も現れる、見ていて楽しい映像になっていますよ!

アクアス出入口



アクアスの出入口に自動改札機が登場! チケットに印刷されたQRコードを自動改札の読み取り箇所にかざしてご入館ください。再入館もチケットかざして電車(※)で旅行気分! 自動改札機の練習もアクアスで?(県外の方には、この興奮は伝わりにくいと思いますが…)

※電車…山陰地方は今なおディーゼル車が運行しているため、普通の列車のことは頑なに「汽車」と呼びます。

以上、アクアスの
リニューアル紹介でした。
新たな魅力溢れるアクアスを
ぜひお楽しみくださいね~!

むずかしいはなし

里地里山～次世代に引き継ぎたい生物多様性～



里地里山とは

皆さん、里地里山という言葉を聞いたことがありますか? 里地里山とは、原生的な自然地域と人が暮らす都市地域との間に位置し、集落と人が管理する森林、それらと混在する農地、ため池、草原など多様な環境で構成される地域のことです。里地里山の環境は、長い歴史の中で農業や林業など、さまざま人間の働きかけを通じて環境が形成・維持されてきました。

里地里山は、食料や木材など自然資源の供給、良好な景観、文化の伝承の観点からも重要な地域です。また、特有の生物の生息・生育環境として、日本列島の自然を豊かにする役割も担ってきました。さまざまな環境があることで多くの種類の生物が生存し、豊かな生物多様性を支える場所になっています。このような里地里山の豊かな生態系も、人が利用目的に応じて、手を加えることで生まれ、維持してきた特殊な空間なのです。

近年、この「人と自然が共生する空間」である里地里山への注目が集まっています。人が農林業のために造った空間にもかかわらず、絶滅危惧種を含む多くの動植物が集中して生息し、まさに“生物多様性の砦”となっているためです。

里地里山の変化

しかし、近年の人口減少や少子高齢化にともない、人が住まなくなった地域が増え、放置され荒廃した里地里山が増えています。耕作放棄地や管理放棄林が増加し、自然資源の循環が少なくなることで、大きな環境変化がおこり、生態系に変化が現れています。



また、宅地やゴルフ場などの造成、農地・河川整備など開発による自然の改変も大きく影響を与えています。私の実家の地域では、園児のころにカエルやヘビを追いかけて田んぼやあぜ道も今はアパート

が建ち、小学生の時にイモ리를捕まえた湿地は団地に変わり、ゲンゴロウやタイコウチを捕まえた小さなため池も今ではサッカー場になってしまいました。

このまま、里地里山が管理・維持されなくなると、豊かな生物多様性が失われてしまう可能性が懸念されます。

人の活動が作り上げた里地里山の生態系や自然環境を守るために、人が適切に管理することが必要なのです。

里地里山の生き物たち

このような、里地里山の環境変化に影響を受けている生き物たちがいます。



日本最大の水生昆虫で「水生昆虫の王様」とも称されるタガメ (Kirkaldyia deyrolli) も近年その姿を見る機会は減り、今では環境省のレッドデータブックで絶滅危惧II類(VU) (絶滅の危険が増大している種) に分類されています。また、2020年には「種の保存法」にもとづく「特定第二種国内希少野生動植物種」に指定され、商用目的での捕獲が禁止となりました。

タガメが減少した原因としては、農薬・開発・灯火の3つが原因と考えられています。農業の近代化や人々の暮らしの変化から影響を受けた結果といえます。

小川に美しく舞うホタルも水質汚染や環境改変により減少しています。日本各地で、ホタルをきれいな川の象徴として、保護や放流が盛んに行われています。ここで問題になるのは、養殖放流の幼虫がその地域のものでなく、他の地域の個体を購入し養殖放流するケースです。

生き物は、地域ごとに特有の遺伝的な多様性を持っています。ほかの地域の集団を放流した場合、その地域に固有の遺伝学的特徴が失われたりする「遺伝学的汚染」が生じ、その地域固有の生態的・形態的な特性も失われてしまいます。遺伝的な多様性を失った集団は、いずれ姿を消してしまいます。



とはい島根県は、まだ自然豊かな環境が残っています。図鑑でしか見たことが無かったタガメを通勤中に発見したこともありますし、山奥まで行かなくても近くの川に行けばホタルの乱舞が見られます。

自分が子供のころに生き物から感じた興奮や感動を再び自分の子供と感じることができる環境があるということは、とても幸せなことだと思います。

自然環境の保全は生き物が生息することではなく、生息できる環境を保全することが重要です。一人一人が正しい知識を身につけ、豊かな里地里山が地域の宝として次世代に引き継がれていくことが望れます。

(魚類展示課 伏見 純)

AQ&As

アクアスしつもんコーナー

Q ペンギン全員の中で一番人気のペンギンは誰ですか?

(青森県 ベンネーム ペンギンさん)

一番人気のペンギンは…すばり、フンボルトペンギン26番、愛称「かーちゃん」です。人気の理由は、かーちゃんのお気に入りの場所がお客様のすぐ近くだからです。他のペンギンがプールを泳いだり、巣や遠くの陸場にいたりする中、かーちゃんはいつも観覧側右手前の日陰で休んでいます。時にはガラス前の擬岩の上をよちよち歩いて気になるお客様の靴をのぞいたり、虫や影を追いかけて遊んだりと好奇心旺盛。なによりも間近でかわいい仕草を観察できるので、ツーショットなどの映え写真を撮りやすいのも人気のひとつかもしれませんね!



Q 水深100m~300m以上のところにいる魚は実際の海ではとても水圧がかかっていると思うのですが水族館では魚にあわせて水圧をかけたりしますか?

(広島県 ベンネーム 桃花さん)

水中では水深が10m深くなるにつれて水圧が1気圧大きくなります。水深100m~300mでは11~31気圧の圧力がかかることになります。そのため、深い海の生き物は陸上まで上がってみると水圧が小さくなるため、浮袋が膨れてしまい、体がひっくりかえってしまうことがあります。水族館によっては採集したときに加圧装置を用い、水槽でも問題なく飼育できるように徐々に圧力を小さくしてから展示することもあります。当館では加圧装置がないため、膨れてしまった浮袋の空気を注射器で抜いて、正常に泳げるようになります。

採集時の取り扱いは様々ですが、加圧しなくとも飼育ができるようになってから展示を行っています。

Q アシカ・アザラシのショーでプールギリギリまで来る飼育員さん、ショー中にプールに落ちたことはありませんか?

(福岡県 ベンネーム しいたけさん)

アシカ・アザラシプールのふちは、擬岩といって人工的な岩でできており、平らではなく少し凸凹しています。足を踏み外したら落ちてしまいそうに見えますね。飼育員は慣れていますので、そんなプールギリギリを歩くぐらいは何てことありません。

ですが…、正直にお話しますとこの文章を書いている私はプールに落ちたことがあります(笑)。ギリギリの所を歩いていたから落ちたわけではなく、アシカのパフォーマンス中にバランスを崩して落ちちゃいました。

ある冬の日、私はアシカの「輪くぐり」という種目を披露しようとしていました。その輪をぐる際に、アシカのニーナがちょっと輪にぶつかってしまいました。ぶつかった部分にニーナの体重がかかることで輪が引っ張られ、片手で輪を持っていた私はバランスを崩し…ボチャン!というわけです。見ていたお客様は「えっ!？」と驚かれたでしょうが、すぐにプールから上がって、何事もなかったかのようにパフォーマンスを続行しました。

以上が私のプール落下経験ですが、こんなことは頻繁に起こるわけではありませんよ。



◎名前、住所、電話番号、年齢(学年)、質問を書いて

①ハガキで質問!

〒697-0004 島根県浜田市久代町1117-2

しまね海洋館「神話の海から」係へ郵送

②メールで質問!

school@aquas.or.jpへメール

【件名は『神話の海から』質問】

お手紙やアクアスで撮影した写真、生き物の絵なども送ってね!

※応募いただいた作品は、審査の上『神話の海から』に掲載させていただきます。

また、作品の返却はいたしません。

AQ&As コーナー

質問
募集中!

アクアメイトのこぼれ話

みなさん、こんにちは! 今回のこぼれ話は、3階のミニアクアリウム水槽、その前にある壁面についてです。

壁面には、シロイルカやサメ、ペンギン、ヒラメなど多くの生き物たちのレリーフが壁から浮かび上がっています。そして実は、そのすべてが実際の生き物とほぼ同じサイズなんです!



水槽の中を泳いでいる魚たちの大きさはわかりづらいですが、等身大の壁面なので実際に色々な物と比べることができます。自分の身体と比べてみ

るのも楽しいかもしれませんね。また、壁面には多くの生き物たちがいるのですが、離れたところから見ると、ある生き物が見えるんです! ヒントは、とても大きな海の生き物です。ぜひアクアスに来た際に見てみてください!

生き物のオブジェの近くには、点字でもその生き物の名前が書いてあるので、ただ見るだけでなく触っても楽しいものになっていますよ。

そのほかにもアクアスには色々な仕掛けがあります。水槽だけでなく壁にも注目してみると新たな発見があるかもしれませんよ~!



(アクアメイト M.R)



私が魚類係から海獣係へ異動になって早いもので1年が経ちました。海獣たちとの生活やトレーニングにも慣れてきた今日この頃ですが、魚類への愛は冷めることなく、たまにバックヤードの水槽を覗いては心躍らせています。

そんな私が海獣係の作業の中で密かに楽しんでいることがあります。それは「餌の中に混ざった他の魚種を探すこと」です。海獣係ではコマイやイカナゴを餌として使用しているのですが、これらの魚は底引き網という漁法で漁獲されるため、他の魚種が混ざって冷凍されることもあります。朝、餌を解凍しバケツに振り分けていると、そんな混ざった魚たちに



出会えるのです。

特にコマイは北海道など北の海域で漁獲されるため、アツモリウオ、エゾメバル、サブロウ、カジカの仲間など島根ではお目にかかれ

い魚が多く、見つけるとすぐ興奮します。そんな少し気持ち悪い気質の私を、係のみんなは温かく見守ってくれていて、混ざりの魚を見つけるとそっと教えてくれます。なんて素晴らしい係でしょう。

こうして今日もどんな魚に出会えるのか、ワクワクしながら餌の準備をしているのでした。

(海獣展示課 石川 亮太)

今年の春、生物採集に行ったスタッフがお土産を持って帰ってきたこちらのクラゲ。「ヤワラクラゲ」といいます。体にある十字型の放射管が特徴で、傘径2cmほどの可愛らしいクラゲですが、驚くことに若返ることができます。多くのクラゲは死ぬと溶けて消えてしまいますが、ヤワラクラゲは弱って死にそうになると、体をポリップに変化させて、ポリップからまたクラゲになって生まれてくるのです。若返ることはできるのは未成熟個体だけですが、私たちも羨む面白い能力ですね。いつも採集に出かけている浜田の海には、まだまだ出会ったことのない面白いクラゲがたくさんいそうです。これからどんなクラゲに出会えるか楽しみです。(魚類展示課 岩澤 愛弥)

ヤワラクラゲ

6 AQUAS

AQUAS 7

新館長に聞く！一問一答

2021年7月から、アクアス3代目館長に就任した湊直樹館長です。『神話の海から』編集委員より質問をさせていただきますので、簡潔にお答えください。

第2回目のインタビューは、アクアスについてお聞かせください。

編集委員：アクアスといえば、どんな印象を持っていましたか。

館長：自然と「笑顔」になれる場所であり、「感動」できる空間、子育て世帯を応援する施設。

編集委員：アクアスにいる生き物の中で一番好きな生き物は何ですか。

館長：やはり、なんといっても「フンボルトペンギン」。ゾッコンになりました！

なぜかって？それは、休館中（令和4年1月27日～2月20日）、ペンギン係の実習に志願して、ペンギン館の清掃や調餌（餌の準備）、給餌（餌を与える）などを行ったので、自然に愛着が湧いてくるんです。

編集委員：水族館の館長に就任される前と後で水族館飼育員への印象は変わりましたか。

館長：はじめは、「海洋生物の専門家」という堅いイメージを抱いていましたが、現在は「本当に生き物が好きな人なんだなあ」と強く感じています。好きだからこそ、観察力も研究心も強く維持でき、それが、アクアスの魅力アップに繋げられていると思います。水槽の清掃や調餌・給餌・パフォーマンスのトレーニングなどに對しても、丁寧かつ正確に粘り強く取り組まれており、頭が下がりますね。

編集委員：2022年4月現在、アクアスで一番のおすすめは。

館長：3月16日にリニューアルオープンしたプロジェクトマッピングです。中でもシロイルカエリアでのプロジェクトマッピングは、日に日に進化していますよ。リアル（本物）とバーチャル（映像）とをシンクロ（同時に起きる）させるため、MCとダイバー、シロイルカがOneHeartになり表現するパフォーマンスは、感動します（わたしは毎回感動の涙が出ます）。

編集委員：アクアスでやってみたいことは何ですか。

館長：障がい者就労体験支援の取組です。アクアスのイベントの際、障がい者就労継続支援事業所に所属する障がいのある方とアクアス職員やボランティアが一緒に来館者をおもてなしする取組を行ってみたいと思っています。

編集委員：アクアスで今後飼育したい生き物は。

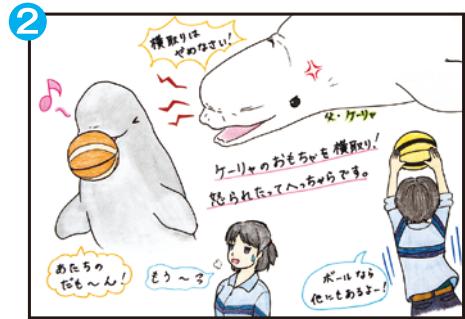
館長：以前飼育していた「マンボウ」です。長く飼育できるようにしたいと思っています。

編集委員：ひそかな野望は。

館長：NHKの「ゆく年くる年」や「紅白歌合戦」でアクアスが放送されること。

編集委員：館長の思うアクアスの課題とは。

館長：これから10年後の魅力開発。



by ユッカ

とっておきの1枚 バシャリ



読者の皆様からも『とっておきの1枚』送ってください！

✉ school@aquas.or.jpへ

※応募いただいた作品は、審査の上
「神話の海から」に掲載させていただきます。

発行日／令和4年7月